



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年7月31日

上場会社名 株式会社ベルーナ

上場取引所

東

コード番号 9997

URL <https://www.belluna.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 安野 清

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員管理本部長

(氏名) 安野 雄一郎 (TEL) 048-771-7753

配当支払開始予定日

—

決算補足説明資料作成の有無

: 有

決算説明会開催の有無

: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績 (2024年4月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	51,368	△0.9	982	△15.1	1,681	△9.6	994	△28.2
2024年3月期第1四半期	51,842	△3.0	1,156	△34.0	1,859	△24.1	1,385	0.2

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 2,729百万円(△47.0%) 2024年3月期第1四半期 5,153百万円(267.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	10.28	—
2024年3月期第1四半期	14.33	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2025年3月期第1四半期	301,653	137,800	45.4
2024年3月期	300,691	136,182	45.0

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 136,888百万円 2024年3月期 135,191百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	—	10.25	—	10.25	20.50
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	14.50	—	14.50	29.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想 (2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	98,000	2.0	3,500	13.1	4,000	△7.5	2,800	△14.2	28.96
通期	217,000	4.2	11,500	17.5	12,500	5.6	8,000	37.0	82.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期1Q	97,244,472株	2024年3月期	97,244,472株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	545,469株	2024年3月期	545,429株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期1Q	96,699,009株	2024年3月期1Q	96,690,224株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、インバウンド需要の拡大や雇用・所得環境の改善などにより景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方で、不安定な海外情勢による地政学リスクなどを背景に原材料・資材価格の高騰や円安の進行などにより物価の上昇が継続しており、個人消費の持ち直しには足踏みが見られ、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

このような状況下におきまして、当社グループは今期より8つのセグメントを今後の成長性・収益性の拡大を担う「グロース事業」と安定した収益性・継続性・社会性を主眼においた「サステナブル事業」の2つにグループピングをし、それぞれに適した経営資源の配分、事業展開を図っております。

その結果、当連結会計年度の売上高は51,368百万円（前年同期比0.9%減）となり、営業利益は982百万円（同15.1%減）、経常利益は1,681百万円（同9.6%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は994百万円（同28.2%減）となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、社内の経営管理区分の一部変更として、㈱エルドラドにて行っている飲食店事業・ゴルフ場運営事業について、報告セグメントを「その他の事業」から「プロパティ事業」に区分を変更しております。以下の前期比較につきましては、前期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

〔プロパティ事業〕

ホテル事業においては、社会経済活動の正常化が本格化し、国内旅行や出張、インバウンド需要が増加したことにより、国内シティ系ホテル及び海外ホテルの稼働率や客室単価が上昇しました。また、国内の新規ホテルが業績に寄与したことなどにより増収増益となりました。この結果、売上高は7,385百万円（同11.5%増）となり、セグメント利益は759百万円（同225.6%増）となりました。

〔化粧品健康食品事業〕

化粧品通販事業においては、新規顧客の獲得数が前年同期と比べ減少したことなどにより減収となりました。一方で、収益性確保を優先した事業運営を行い増益となりました。健康食品通販事業においては、インフォマーシャルを中心に新規顧客の獲得強化を図りましたが苦戦し減収減益となりました。この結果、売上高は3,332百万円（同11.5%減）となり、セグメント利益は48百万円（前年同期は41百万円のセグメント損失）となりました。

〔グルメ事業〕

グルメ通販事業においては、円安の進行や原材料・資源価格の高騰を受け輸入ワインの仕入原価が上昇したため、収益性を重視し商品価格の見直しを一部行いましたが原価率は悪化しました。また、サービスレベル向上のためにシステム刷新を行ったため電算費比率が上昇しました。この結果、売上高は6,566百万円（同2.5%減）となり、セグメント利益は30百万円（同62.9%減）となりました。

〔ナース関連事業〕

看護師向け通販事業においては、円安の進行や原材料・資材の高騰を受け仕入原価及びカタログ等の紙媒体費用が上昇したため、収益性を重視し一部販売経路において商品価格の見直しや紙媒体の発行数量の抑制を行いました。この結果、売上高は3,701百万円（同2.4%減）となり、セグメント利益は138百万円（同44.3%減）となりました。

〔呉服関連事業〕

和装販売事業においては、受注は堅調に推移したものの、前期の店舗縮小の影響により減収減益となりました。(株)BANKANわものや、(株)ますいわ屋においてはローコストオペレーションの推進により収益性の改善が図られました。衣裳レンタル事業においては、卒業式袴レンタルの早期受注会の実施による大幅な受注増加に伴い、受注経費が増加しました。この結果、売上高は3,782百万円(同5.2%減)となり、セグメント損失は942百万円(前年同期は851百万円のセグメント損失)となりました。

〔アパレル・雑貨事業〕

アパレル・雑貨通販事業においては、円安の進行や原材料・資材の高騰を受け仕入原価及びカタログ・チラシ等の紙媒体費用が上昇したため、収益性を重視し商品価格の見直しや紙媒体の発行数量の抑制を行ったものの減収減益となりました。商品価格にメリハリをつけたこと、商品力強化に注力したことなどにより新規顧客数が増加に転じ、稼働顧客数も前年同期と比べ増加するなど収益性の改善に向けて各種指標の改善が図れました。この結果、売上高は21,776百万円(同0.6%減)となり、セグメント損失は283百万円(前年同期は278百万円のセグメント利益)となりました。

〔その他の事業〕

アパレル卸売事業においては、クライアント各社の展開縮小が継続していること、在庫処分を前倒しで行ったことなどにより減収減益となりました。この結果、売上高は752百万円(同10.3%減)となり、セグメント損失は102百万円(前年同期は52百万円のセグメント損失)となりました。

〔データベース活用事業〕

封入・同送サービス事業においては、アパレル・雑貨通販事業における媒体の発行数が減少する中、新規クライアントの獲得が順調であったこと、既存クライアントへの営業強化が功を奏したことなどにより増収増益となりました。フルフィルメント受託サービス事業においては、新規クライアントの獲得は順調であったものの人件費等の上昇などにより減益となりました。ファイナンス事業においては、新規顧客が前年同期と比べ効率的に獲得できたため増収増益となりました。この結果、売上高は4,371百万円(同0.3%増)となり、セグメント利益は1,340百万円(同2.9%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末比1,096百万円減少し、128,865百万円となりました。これは主に、商品及び製品が1,811百万円、販売用不動産が1,944百万円増加した一方で、現金及び預金が3,581百万円、仕掛販売用不動産が1,650百万円減少したことによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末比2,058百万円増加し、172,788百万円となりました。これは主に、建物及び構築物が642百万円、土地が517百万円、投資有価証券が1,344百万円増加したことによるものであります。この結果、資産合計は、前連結会計年度末比961百万円増加し、301,653百万円となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末比10,937百万円増加し、70,144百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が3,033百万円、電子記録債務が1,175百万円、契約負債が1,519百万円、短期借入金が7,924百万円増加したことによるものであります。固定負債は、前連結会計年度末比11,594百万円減少し、93,707百万円となりました。これは主に、長期借入金が11,546百万円減少したことによるものであります。この結果、負債合計は、前連結会計年度末比657百万円減少し、163,852百万円となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末比1,618百万円増加し、137,800百万円となりました。この結果、自己資本比率は45.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、2024年5月13日の公表から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	35,842	32,261
受取手形及び売掛金	10,570	11,218
営業貸付金	31,750	32,262
有価証券	695	749
商品及び製品	26,097	27,908
原材料及び貯蔵品	1,487	781
販売用不動産	5,129	7,073
仕掛販売用不動産	3,205	1,554
その他	16,076	15,948
貸倒引当金	△892	△892
流動資産合計	129,961	128,865
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	65,470	66,113
機械装置及び運搬具（純額）	8,145	7,950
工具、器具及び備品（純額）	1,954	1,975
土地	46,739	47,256
リース資産（純額）	1,993	1,910
建設仮勘定	12,605	12,605
有形固定資産合計	136,909	137,811
無形固定資産		
のれん	1,044	986
リース資産	799	730
その他	9,049	9,085
無形固定資産合計	10,893	10,802
投資その他の資産		
投資有価証券	14,614	15,959
長期貸付金	1,998	2,096
破産更生債権等	211	198
繰延税金資産	598	558
その他	6,209	6,096
貸倒引当金	△705	△735
投資その他の資産合計	22,927	24,174
固定資産合計	170,730	172,788
資産合計	300,691	301,653

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,934	13,968
電子記録債務	5,682	6,857
短期借入金	13,090	21,015
1年内償還予定の社債	5,015	5,010
未払費用	14,631	14,084
リース債務	489	473
未払法人税等	2,210	1,220
契約負債	3,557	5,076
賞与引当金	1,058	523
その他	2,536	1,913
流動負債合計	59,206	70,144
固定負債		
社債	5	-
長期借入金	98,563	87,016
利息返還損失引当金	335	323
リース債務	2,387	2,275
退職給付に係る負債	331	293
役員退職慰労引当金	249	249
資産除去債務	1,076	1,081
修繕引当金	117	125
その他	2,236	2,343
固定負債合計	105,302	93,707
負債合計	164,509	163,852
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,612	10,612
資本剰余金	10,950	10,950
利益剰余金	112,545	112,548
自己株式	△455	△455
株主資本合計	133,652	133,655
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,028	3,256
繰延ヘッジ損益	496	448
土地再評価差額金	△7	△7
為替換算調整勘定	△1,979	△489
退職給付に係る調整累計額	1	24
その他の包括利益累計額合計	1,539	3,232
非支配株主持分	990	912
純資産合計	136,182	137,800
負債純資産合計	300,691	301,653

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)
売上高	51,842	51,368
売上原価	20,036	20,026
売上総利益	31,805	31,342
販売費及び一般管理費	30,648	30,359
営業利益	1,156	982
営業外収益		
受取配当金	143	179
為替差益	504	527
その他	224	243
営業外収益合計	872	949
営業外費用		
支払利息	101	164
支払手数料	17	13
店舗閉鎖損失	18	21
その他	31	50
営業外費用合計	169	250
経常利益	1,859	1,681
特別利益		
投資有価証券売却益	427	—
特別利益合計	427	—
特別損失		
固定資産除却損	2	4
投資有価証券評価損	68	—
特別損失合計	71	4
税金等調整前四半期純利益	2,215	1,677
法人税、住民税及び事業税	828	664
法人税等調整額	△4	10
法人税等合計	824	674
四半期純利益	1,391	1,002
非支配株主に帰属する四半期純利益	5	7
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,385	994

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	1,391	1,002
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	835	227
繰延ヘッジ損益	530	△47
為替換算調整勘定	2,418	1,523
退職給付に係る調整額	△22	23
その他の包括利益合計	3,761	1,727
四半期包括利益	5,153	2,729
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,091	2,687
非支配株主に係る四半期包括利益	61	42

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号2022年10月28日。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	通販事業						呉服関連 事業	プロパテ ィ事業	その他の 事業	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	アパレル ・雑貨 事業	化粧品 健康食品 事業	グルメ 事業	ナース 関連 事業	データベ ース活用 事業	小計					
売上高											
外部顧客への売上高	21,872	3,764	6,678	3,792	4,339	40,446	3,971	6,606	817	—	51,842
セグメント間の内部 売上高又は振替高	39	0	55	0	17	113	19	16	20	△170	—
計	21,911	3,764	6,733	3,792	4,357	40,560	3,991	6,622	838	△170	51,842
セグメント利益(又は セグメント損失△)	278	△41	82	249	1,380	1,950	△851	233	△52	△122	1,156

(注) 1. セグメント利益(又はセグメント損失△)の調整額は、セグメント間の連結消去仕訳70百万円とのれん償却費△193百万円であります。

2. セグメント利益(又はセグメント損失△)は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	通販事業						呉服関連 事業	プロパテ ィ事業	その他の 事業	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	アパレル ・雑貨 事業	化粧品 健康食品 事業	グルメ 事業	ナース 関連 事業	データベ ース活用 事業	小計					
売上高											
外部顧客への売上高	21,739	3,331	6,481	3,701	4,357	39,612	3,762	7,260	733	—	51,368
セグメント間の内部 売上高又は振替高	37	0	84	—	13	135	20	125	18	△299	—
計	21,776	3,332	6,566	3,701	4,371	39,748	3,782	7,385	752	△299	51,368
セグメント利益(又は セグメント損失△)	△283	48	30	138	1,340	1,275	△942	759	△102	△7	982

(注) 1. セグメント利益(又はセグメント損失△)の調整額は、セグメント間の連結消去仕訳70百万円とのれん償却費△78百万円であります。

2. セグメント利益(又はセグメント損失△)は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、社内の経営管理区分の一部変更として、(株)エルドラドにて行っている飲食店事業・ゴルフ場運営事業について、報告セグメントを「その他の事業」から「プロパティ事業」に区分を変更しております。なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分により作成したものを記載しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	1,136百万円	1,450百万円
のれんの償却額	193	78